

株式会社 バッファロー

Business Report 2026

2025.4.1 — 2026.3.31



Wi-Fi 7

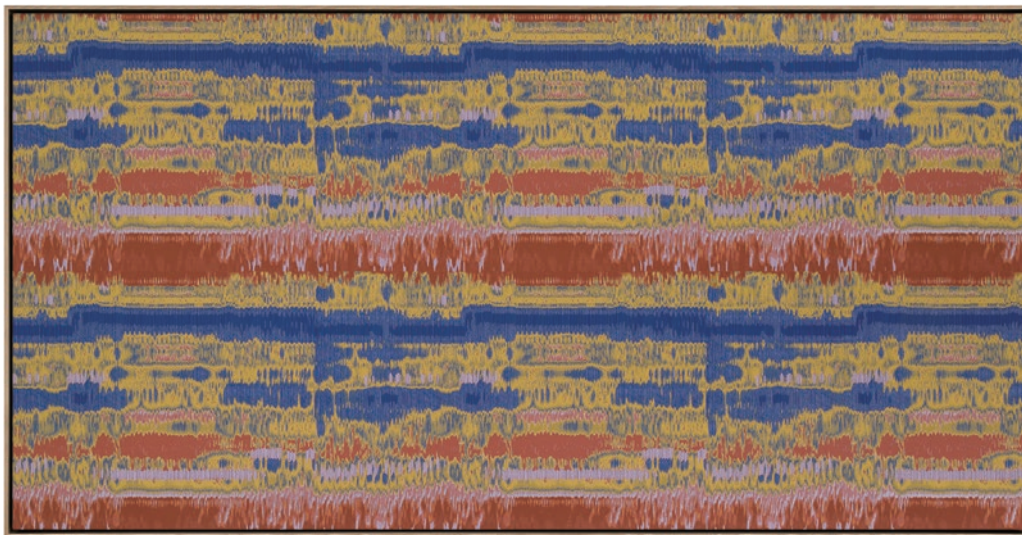


NAS



AMD社製CPU
[RYZEN]

BUFFALO™
Value Chain Engineering



本作品は、アーティストである田島美加氏が
バッファロー商品を生産する工場でリサーチを行い、
さまざまな生産音を録音しデジタルデータに変換、
それを構図として用いて制作された当社と所縁のある作品となります。

田島美加 | Mika Tajima
"Negative Entropy (Buffalo, Inc., Original Record Player Demo, Cobalt, Hex)" 2025
©Mika Tajima Courtesy of TARO NASU

Photo by Charles Benton

ステークホルダーの皆様へ

TO OUR STAKEHOLDERS

ステークホルダーの皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、2025年4月のグループ再編を経て、IT関連事業に集中する上場事業会社として新たな歩みを始めました。あわせて、付加価値の創出による持続的な成長とステークホルダーの皆様への分配をより明確に意識した経営へと、歩みを進めております。

2026年3月期におきましては、通期連結業績予想の上方修正を3度発表し、期初計画を大幅に上回る成果を収めることができました。これもひとえに、皆様のご支援のもと、当社グループが一丸となって、役職員一人ひとりが日々の事業活動に取り組んできた結果であると受け止めております。

今後も、コーポレートスローガンである「Value Chain Engineering (VCE)」のもと、当社が創業以来掲げてきた経営コンセプト「Original Value Creation (オリジナルな『価値』の創造)」を大切にしながら、VCEを当社固有



のスローガンにとどまらない、価値創造を支える実践的な考え方として磨き上げ、企業価値の向上とステークホルダーの皆様への還元に努めてまいります。

何卒ご高承のうえ、ご支援を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

2026年6月

株式会社バッファロー
代表取締役 社長執行役員CEO

牧 寛之

2025年4月1日にメルコHDとバッファローが合併し上場会社バッファローとして出発したこと、さらに2025年5月1日にバッファロー創業50周年を迎えたことを機に、創業の精神を基礎として、経営コンセプトと行動指針を策定いたしました。

経営
コンセプト

Original Value Creation

(オリジナルな「価値」の創造)

行動
指針

Fair and Open

公正さと
オープンな態度

Logical Thinking

論理的な
考え方

Simple and Speedy

シンプルそして
迅速に実行

Leading Edge

最先端そして
最前線にゆく

事業領域をIT関連に集中し、 Value Chain Engineeringの推進でさらなる収益改善へ

50周年を迎え、創業の精神に立ち返る

当社は2025年4月1日付で完全子会社である株式会社バッファローを吸収合併のうえ商号変更し、純粋持株会社から事業会社へ移行いたしました。また、2025年5月1日付で創業50周年を迎えております。

これに合わせ、創業の精神を基礎として経営コンセプトを純粋持株会社体制となる前の「Original Value Creation」に戻しました。事業領域をIT関連に集中させ、オリジナルな「価値」の創造(=付加価値の創出)により持続的に成長し、ステークホルダーへの分配に取り組みます。

当社の近況

1	2023年 6月	◎ 監査・監督機能の強化のため、監査等委員会設置会社へ移行
2	～2024年 3月	◎ コロナ禍中、安定供給を重視し価格維持を推進
3	2024年 4月	◎ バッファローブランド商品1,090型番を値上げ
4	2024年 10月	◎ シマダヤのスピノフ・上場(スタンダード市場)
5	2025年 4月	◎ メルコホールディングスがバッファローを吸収合併しバッファローに商号変更 ◎ 執行役員制度を導入 ◎ 部局組織を構築
6	2025年 6月	◎ 譲渡制限付株式報酬制度の導入
7	2025年 8月	◎ 株主優待制度の新設

適正な価格設定と原価低減で収益性が向上

当連結会計年度におけるわが国経済は緩やかな回復傾向が継続しておりますが、米国における通商政策の影響や地政学的リスクの長期化等による世界経済の減速懸念に加え、物価上昇に伴う消費マインドの下振れリスクが高まるなど、先行き不透明な状況が継続しました。

当社グループの主力事業領域であるパソコン周辺機器業界は、法人向け市場で企業の設備投資に増加傾向がみられたものの、個人向け市場においては物価高による消費余力の低迷などにより需要の縮小が継続しております。

事業概況について、パソコン周辺機器分野は、前期から取り組みを続けてきた適正な価格設定による販売単価の上昇、エンジニアリング・サイクルを活かした当社独自の原価低減活動の他、為替が想定より円高水準となったことも追い風となり、収益性が大幅に向上しました。法人向け市場では企業DX支援の一環でネットワーク機器やNASの拡販に注力し、個人向け市場ではシェア維持により収益の拡大に努めました。また近年、サイバー攻撃の高度化などに伴い、国内におけるネットワークセキュリティが極めて重要な局面を迎えていることから、経済産業省主導のセキュリティ要件適合評価及びラベリング制度「JC-STAR」にバッファロー商品をいち早く対応・拡充させました。関連サービス分野では、施設内ネットワーク施工の案件獲得に努めました。

卸売品分野は、パソコンの需要増に伴いAMD社製CPU「RYZEN」*1やグラフィックボードなどが堅調に推移いたしました。その他分野である「Airdog」*2シリーズにおいては、2025年8月29日を以て国内の独占販売契約を終了したことにより減収減益となりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高1,173億12百万円(前年同期比18.0%減)、営業利益92億30百万円(同4.4%増)、経常利益102億19百万円(同13.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益80億71百万円(同34.4%増)となりました。

※1 "AMD"、"Ryzen"及びこれらの組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。

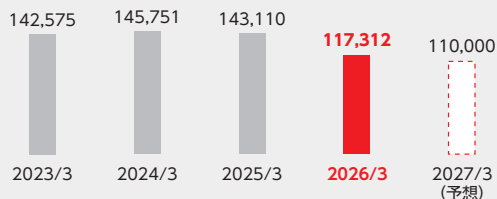
※2 "Airdog"は、蘇州貝昂智能科技有限公司の登録商標です。

強みのエンジニアリング・サイクルを活かしVCEを推進

今後の見通しについて、パソコン周辺機器分野は安定供給や適正な価格設定等により増収となる一方で、為替が円安傾向であること、半導体部材が高騰していること等により減益になると想定しております。また、「Airdog」シリーズの収益が無くなることから2027年3月期は全体では減収減益となる見込みです。通期連結業績予想は、売上高1,100億円(前年同期比6.2%減)、営業利益62億円(同32.8%減)、経常利益62億円(同39.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益45億円(同44.2%減)を見込んでおります。

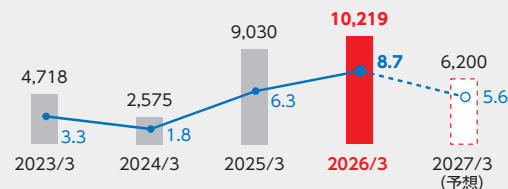
引き続き、当社の強みであるエンジニアリング・サイクルを活かしたValue Chain Engineering(VCE)をより一層推し進めることにより、さらなる収益改善に努めてまいります。

連結売上高 (単位：百万円)



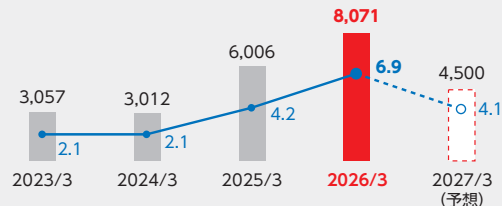
連結経常利益 (単位：百万円)

連結売上高経常利益率 (単位：%)

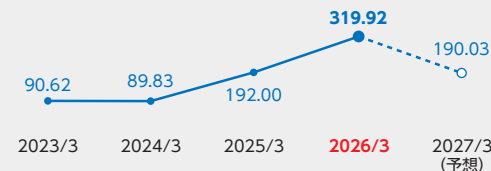


親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)

連結売上高当期純利益率 (単位：%)



1株当たり当期純利益 (単位：円)



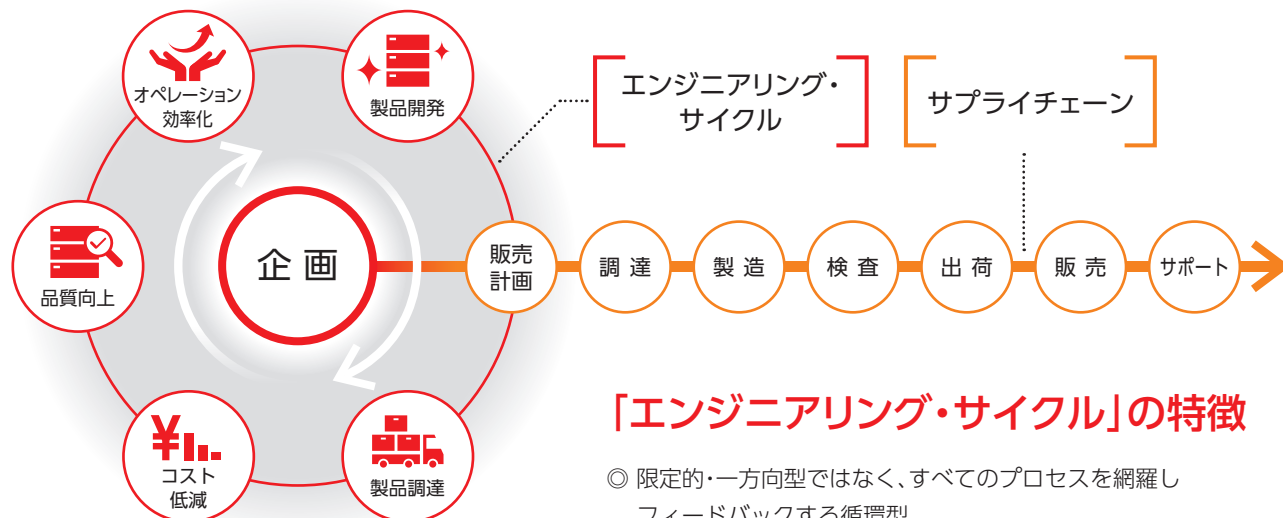
(注) 各数値に係る注記はP.9を参照ください。

コーポレートスローガン

Value Chain Engineering

バリューチェーン・エンジニアリング

当社の強みは「エンジニアリング・サイクル」であり、これまでITハードウェアに関わるエンジニアリング活動を継続深化させてきました。今や情報技術は有形の製品にとどまらず、サービスやソリューションといった無形の価値も求められています。我々はこのニーズに応えるべく、エンジニアリング活動を通じ、付加価値創出を加速してまいります。



「エンジニアリング・サイクル」の特徴

- ◎ 限定的・一方向型ではなく、すべてのプロセスを網羅しフィードバックする循環型
- ◎ エンジニアリング・サイクル自体をシステムとして提供

商品分野

当社はご家庭向け・法人向けの商品を展開し、Wi-Fiルーターや法人向けVPNルーター、有線LANスイッチなどのネットワーク機器、パソコン・テレビ録画用外付けHDDや遠隔監視・操作が可能な法人向けNASなどのストレージ機器、その他マウスやキーボード、Webカメラといったパソコン周辺機器を開発・製造・販売しております。また、公共施設や病院、オフィス向けのネットワーク設置施工サービスや、HDDやサーバー等から読み出せなくなったデータの復旧サービスなど、メーカーならではの高い技術力を強みに、周辺サービスも提供しております。

このほか、CPUやマザーボード、グラフィックボードなど卸売品も取り扱っております。

ネットワーク機器

主な商品 Wi-Fiルーター、ハブ、LANアダプター



Wi-Fi



スイッチ

メモリ・ストレージ機器

主な商品 HDD、NAS、SSD、DVDドライブ、USBメモリ、メモリ、メディア



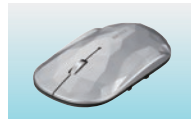
HDD



NAS

その他周辺機器

主な商品 マウス、キーボード、Webカメラ、ケーブル



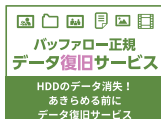
マウス



キーボード

関連サービス

主な商品 データ復旧サービス、ネットワーク施工



データ復旧サービス



ネットワーク施工

卸売品

主な商品 CPU、グラフィックボード、その他パーツ



CPU



グラフィックボード

その他

主な商品 Airdog



Airdog

※2025年8月29日を以て、国内の独占販売契約を終了。

BCN AWARD
2026 | 2025年1月～12月

15 部門受賞

当社
グループ



全国大手家電量販店の実売データ集計に基づくAWARDです。

※1 当社グループとして。CFD販売としては17年連続17回目。

※2 当社グループとして。CFD販売としては15年連続15回目。

無線LAN
部門

24年連続
24回目

NAS
部門

13年連続
13回目

HUB
部門

25年連続
26回目

LANカード
部門

27年連続
27回目

外付けHDD
部門

18年連続
23回目

ルータ
部門

23年連続
24回目

拡張インターフェース部門 ——— 23年連続 23回目^{※1}

メモリ部門 ——— 17年連続 25回目^{※2}

ドライブケース部門 ——— 16年連続 18回目

PC電源部門 ——— 15年連続 15回目

USBメモリ部門 ——— 6年連続 13回目

記録型DVDドライブ部門 ——— 6年連続 15回目

SSD外付部門 ——— 6年連続 6回目

カードリーダー部門 ——— 4年連続 11回目

USB部門 ——— 2年連続 3回目

TOPIC 1

福岡県「宇宙関連ビジネス製品・サービス開発支援事業」に採択

2025年8月にデジオンの生成AIによる衛星画像の超解像化を活用した農地情報調査支援サービス「イナリス™」が福岡県「宇宙関連ビジネス製品・サービス開発支援事業」に採択され、飯塚市での実証事業において、農地調査作業時間を81%削減するという極めて高い成果を収めました。今後も森林保全やインフラ監視など他分野への横展開及びサービス拡大を図ってまいります。



TOPIC 2

国内外で経済安全保障関連の認証取得／法律準拠商品を拡大

セキュリティ要件適合評価及びラベリング制度「JC-STAR」対応のバッファロー商品を順次拡大し、法人向けWi-Fi、個人向けWi-Fi、ルーター、NAS計56シリーズ158型番が対応（2026年3月末現在）。また、バッファローのNASは米国連邦標準規格の認証取得、米国貿易協定法に準拠、米国国防権限法に準拠しており、米国の様々な公共機関で長年にわたり採用されております。



TOPIC 3

令和7年度中部地方発明表彰において「発明奨励賞」を受賞

バッファローのWi-Fiルーターに搭載されている家庭内のネットワークを守る「ネット脅威ブロッカー2」の「危険UPnPブロック機能」に関する発明が、令和7年度中部地方発明表彰（主催：公益社団法人発明協会）において「発明奨励賞」を受賞いたしました。商品を通じてユーザーへのセキュリティに関する啓発、注意喚起等を行い、安全にIoT機器を利用できる環境をお客様に提供しております。



TOPIC 4

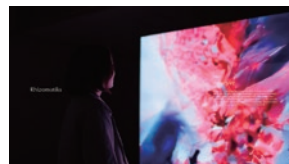
世界水準のアーティストを起用したテレビCMを展開

ITの退屈を引き受ける「見えない、美学」を掲げ、アーティストの挑戦をITインフラで支えることで信頼のブランドエビデンスを構築すべく、2025年12月からテレビCMを展開。調査では、CM接触により認知度や利便性・技術力・先進性のイメージが向上し、ブランド価値強化に繋がっています。「企業広告のCM好感度獲得効率ランキング」*では家電メーカーで1位を獲得しました。

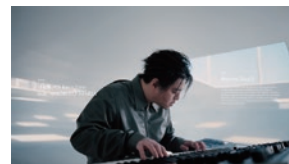
*CM総合研究所が実施した「CM好感度調査」より

『ライゾマティクス編』 調査期間：2025年12月20日～2026年1月4日
企業広告199社の中で16位を獲得（上位10%以内、家電メーカー内1位）

『渋谷慶一郎氏編』 調査期間：2026年1月20日～2月4日
企業広告176社の中で14位を獲得（上位10%以内、家電メーカー内1位）



Vol.1 Rhizomatiks



Vol.2 渋谷慶一郎氏



Vol.3 蜷川実花 with EiM

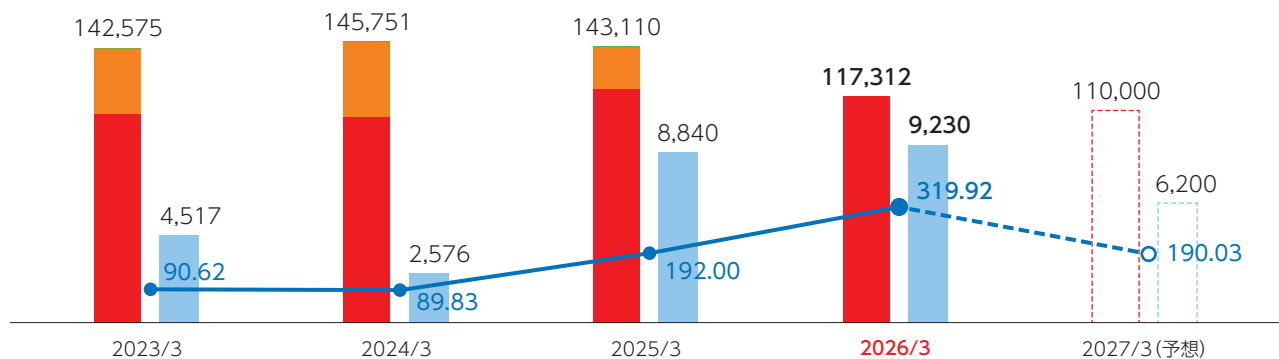


Vol.4 森江康太氏

連結売上高 (単位: 百万円) ■ IT関連 ■ 食品 ■ その他

連結営業利益 (単位: 百万円) ■

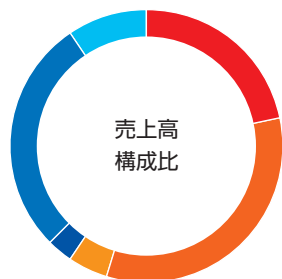
1株当たり純利益 (単位: 円) ●



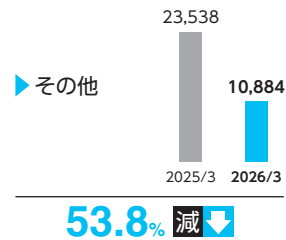
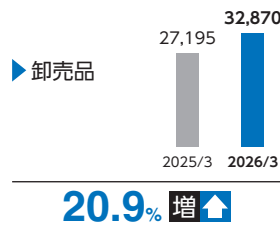
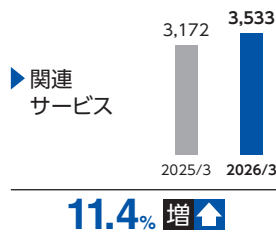
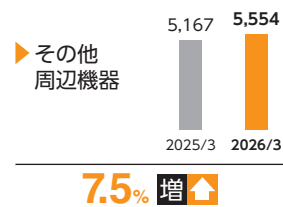
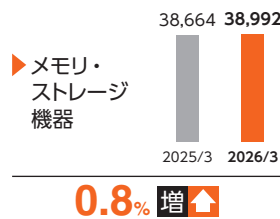
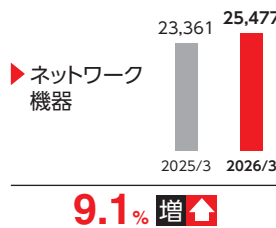
(注) 1. 2026年3月期の期首から、当社グループはIT関連事業単一の報告セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(注) 2. その他各数値に係る注記はP.9をご参照ください。

商品分野別売上高 (単位: 百万円)



▶ ネットワーク機器	21.7%
▶ メモリ・ストレージ機器	33.2%
▶ その他周辺機器	4.7%
▶ 関連サービス	3.0%
▶ 卸売品	28.0%
▶ その他	9.3%



(注) 上記2025年3月期の数値には、食品事業21,862百万円、及び旧株式会社メルコホールディングスの役務収益147百万円は含まれておりません。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期 2026年 3月31日	前 期 2025年 3月31日
1 【資産の部】		
流動資産	65,281	69,043
固定資産	6,162	7,743
有形固定資産	714	786
無形固定資産	1,899	2,846
投資その他の資産	3,548	4,109
資産合計	71,444	76,786
2 【負債の部】		
流動負債	26,820	30,795
固定負債	1,622	953
負債合計	28,443	31,749
3 【純資産の部】		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	250	250
利益剰余金	41,760	43,567
自己株式	△730	△327
株主資本合計	42,280	44,489
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△198	357
繰延ヘッジ損益	158	△55
為替換算調整勘定	41	△24
退職給付に係る調整累計額	716	270
その他の包括利益累計額合計	719	547
純資産合計	43,000	45,037
負債純資産合計	71,444	76,786

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

1 資産の部

当連結会計年度末の総資産は714億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ53億42百万円減少しました。流動資産は652億81百万円となり、37億61百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少43億94百万円、売掛金の減少24億6百万円、商品及び製品の増加17億27百万円、未収還付法人税等の増加8億47百万円、未収消費税等の増加4億92百万円によるものです。固定資産は61億62百万円となり、15億81百万円減少しました。これは主に、無形固定資産の減少9億47百万円、投資その他の資産の減少5億61百万円によるものです。

2 負債の部

負債合計は284億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億5百万円減少しました。流動負債は268億20百万円となり、39億74百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少19億69百万円、未払金の減少15億73百万円、未払法人税等の減少12億82百万円、製品保証引当金の減少3億57百万円、未払費用の増加7億20百万円、電子記録債務の増加4億68百万円によるものです。固定負債は16億22百万円となり、6億69百万円増加しました。これは主に、長期借入金の増加13億14百万円、役員退職慰労引当金の減少6億1百万円によるものです。

3 純資産の部

純資産合計は430億円となり、前連結会計年度末に比べ20億36百万円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の獲得80億71百万円、配当金の支払額16億37百万円、自己株式の取得87億3百万円、その他の包括利益累計額の増加1億72百万円によるものです。

なお、自己株式の消却により、利益剰余金が82億19百万円、自己株式が82億19百万円、及び譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分により、自己株式が81百万円それぞれ減少しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期 自 2025年 4月 1 日 至 2026年 3月31日	前 期 自 2024年 4月 1 日 至 2025年 3月31日
売上高	117,312	143,110
売上原価	86,925	103,804
販売費及び一般管理費	21,156	30,466
営業利益	9,230	8,840
営業外収益	1,272	388
営業外費用	283	198
経常利益	10,219	9,030
特別利益	212	616
特別損失	55	387
税金等調整前当期純利益	10,377	9,259
法人税、住民税及び事業税	1,962	3,772
法人税等調整額	343	△520
親会社株主に帰属する当期純利益	8,071	6,006

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

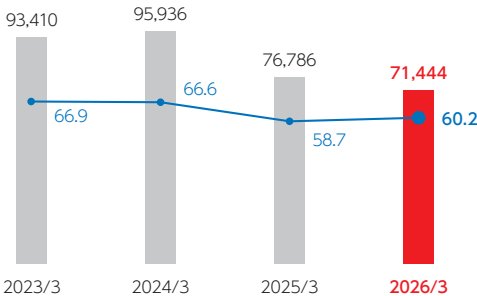
科 目	当 期 自 2025年 4月 1 日 至 2026年 3月31日	前 期 自 2024年 4月 1 日 至 2025年 3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	3,703	14,725
投資活動による キャッシュ・フロー	631	△1,363
財務活動による キャッシュ・フロー	△8,792	△7,159
現金及び現金同等物に 係る換算差額	62	△17
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△4,394	6,184
現金及び現金同等物の 期首残高	31,609	29,958
連結除外に伴う現金及び 現金同等物の減少額	—	△4,534
現金及び現金同等物の 期末残高	27,215	31,609

総資産

(単位：百万円)

自己資本比率

(単位：%)



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

- (注) 1. 2025年4月1日に実施しました吸収合併により当社が純粋持株会社から事業会社へ移行したことに伴い、前連結会計年度において「売上高」及び「営業外収益」の「その他」に表示していた不動産賃貸料収入60百万円は、「営業外収益」の「受取賃貸料」へ組み替えを行っております。2023年3月期～2025年3月期の連結売上高、連結営業利益は当該表示方法の変更を反映した組替後の数値を記載しております。
- (注) 2. 2026年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施いたしました。1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額は、2023年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。
- (注) 3. 食品事業では、2024年10月1日付の株式分配型スピンオフによりシマダヤ株式会社他4社を当社の連結範囲から除外しております。食品事業に係る売上高、セグメント利益については連結除外日までの実績を含めております。

詳細情報は

バッファロー IR

検索

<https://www.buffalo.jp/ir/>

会社情報 (2026年3月31日現在)

商号	株式会社/バッファロー (英文社名)BUFFALO INC.	取締役 (2026年6月25日現在)	代表取締役 牧 寛之 取締役 中山 千里 取締役 津坂 巖	取締役(常勤監査等委員) 長瀬 吉昌 取締役(常勤監査等委員) 神谷 純	取締役(常勤監査等委員) 宮嶋 宏幸 取締役(常勤監査等委員) 大塚 久美子
資本金	10億円	執行役員 (2026年4月1日現在)	社長執行役員CEO 牧 寛之 副社長執行役員COO 渡邊 泰治 専務執行役員 和田 学 常務執行役員 矢野 学 常務執行役員 横井 一紀 常務執行役員 石丸 正弥 常務執行役員 西脇 孝志	常務執行役員 岩崎 克己 常務執行役員 三谷 弘次 執行役員 田村 信弘 執行役員 高見 康朗 執行役員 富山 強 執行役員 大屋 誠 執行役員 松崎 真也	執行役員 佐藤 教人 執行役員 日當 貴志 執行役員 長尾 浩志 執行役員 齊藤 琢也 執行役員 山田 弘樹
事業内容	デジタル家電及びパソコン周辺機器の 開発・製造・販売及びデータ復旧 サービス				
従業員数	611名、 グループ連結963名				
グループ企業	会社数12社 (国内9社、海外3社)				

国内	シー・エフ・デー販売株式会社／株式会社バイオス／株式会社バッファロー・IT・ソリューションズ／ アドバンスデザイン株式会社／株式会社DELA／株式会社デジオン／株式会社トゥーコネクト	海外	【米 国】BUFFALO AMERICAS, INC. 【台 湾】巴比禄股份有限公司
----	--	----	---

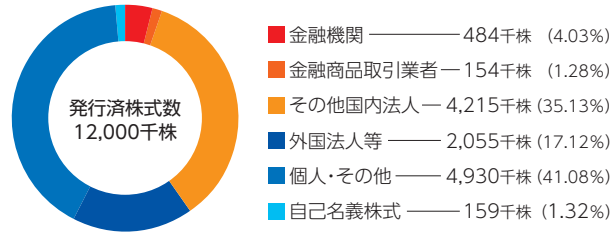
株式情報 (2026年3月31日現在)

株式の状況

発行済株式の総数 12,000,000株 (自己株式159,471株含む)
株主数 11,871名

(注) 2026年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
なお、発行済株式数、自己株式数は株式分割前の株式数を記載しております。

所有者別分布状況



(注) 1. 持株数は、千株未満の端数を切り捨てて表示しております。
2. 構成比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社メルコグループ	3,620	30.57 (30.16)
牧 寛之	2,015	17.01 (16.79)
公益財団法人牧誠財団	500	4.22 (4.16)
ECM MF	452	3.82 (3.77)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	400	3.38 (3.33)
MLI FOR SEGREGATED PB CLIENT	250	2.11 (2.08)
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	230	1.94 (1.91)
JPMSPCL CLIENT ASSETS SK JPY	192	1.62 (1.60)
バッファロー共栄会	134	1.13 (1.11)
岩崎 泰次	110	0.93 (0.92)

(注) 1. 持株数は千株未満の端数を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は自己株式を控除した発行済株式の総数を基準にして計算し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。なお、() 内の持株比率は自己株式を含めた発行済株式の総数を基準にして計算しております。

株主優待制度のご案内

対象となる株主様

毎年3月末日及び9月末日を基準日とする当社株主名簿に記載または記録された、当社株式を1単位(100株)以上保有されている株主様を対象といたします。

株主優待の内容

対象株主様に対して、基準日毎に次のとおりデジタルギフト等を進呈いたします(2026年3月末日以降の基準日からは、保有期間による区分はございません)。

保有 株式数	株主優待の内容	
	毎年3月末	毎年9月末
100株 (1単位) 以上	5,000円相当の デジタルギフトまたは バッファロー商品セレクション	5,000円相当の デジタルギフトまたは バッファロー商品セレクション

※デジタルギフトの対象となる交換先は次の予定です。なお、交換先につきましては、今後変更の可能性がございます。
PayPayマネーライト／dポイント／au PAY ギフトカード／楽天ポイントギフト／EdyギフトID／Apple Gift Card／Google Play ギフトコード
※「バッファロー商品セレクション」は、ピックアップした当社商品からの選択となり、当社商品在庫の都合上、台数限定・先着順申込となります。また、バッファロー商品の発送は、交換手続き期間終了後の1カ月後を目途に発送いたします。

交換先の選択方法

対象株主様宛に「株主優待のご案内」を「中間決算関係書類」または「定時株主総会招集ご通知」に同封して発送いたします。「株主優待のご案内」に沿ってWeb上でご希望の交換先を選択していただき、交換手続きをお願いいたします。

なお、選択期間を過ぎた場合は交換手続きが出来なくなるため、選択期間内の交換手続き完了をお願いいたします。

進呈時期

3月末日、9月末日を基準日として、権利確定日から3カ月以内を目処に、株主名簿に記載された住所宛てに発送を予定しております。

株主メモ

決算期日	3月31日
定時株主総会	6月
株主確定基準日	議決権行使株主 3月31日 期末配当金受領株主 3月31日 中間配当金受領株主 9月30日
上場証券取引所	東証スタンダード市場・名証プレミアム市場
証券コード	6676
銘柄名称	株式会社BUFFALO(略称：BUFFALO)
1単元の株式数	100株
公告の方法	電子公告 https://www.buffalo.jp/koukoku/
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 ◎電話照会先 TEL.0120-782-031(フリーダイヤル) 平日9:00~17:00
幹事証券会社	(主)大和証券 (副)野村證券、みずほ証券、SMBC日興証券

株式会社 **バッファロー** (証券コード6676)

<https://www.buffalo.jp>

東京 本社	〒100-6215 東京都千代田区丸の内一丁目11番1号 パシフィックセンチュリープレイス丸の内 TEL.03-4213-1122(代) FAX.03-4213-1123
名古屋 本社	〒460-8315 愛知県名古屋市中区大須三丁目30番20号 赤門通ビル TEL.052-249-6610(代) FAX.052-249-6609



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。